

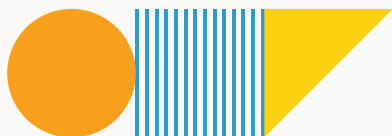


# Yellowfin 9 変更管理ドキュメント

2021年3月

# 目次

アップグレード管理 .....	2
主要な変更点 .....	2
新しいYellowfin ダッシュボード .....	2
ストーリーボードを置き換えるYellowfin プレゼント .....	3
コンテンツフォント .....	3
変更の理由 .....	3
新しいレポートおよびグラフ書式のデフォルト設定 .....	4
新規オプションが持つ意味 .....	4
カスタムレポートおよびグラフスタイルに与える影響 .....	4
デフォルト設定の変更点詳細 .....	5
システム構成のデフォルト設定表 .....	5
グラフ書式のデフォルト設定表 .....	11
その他インストーラーでの書式設定 .....	23
アップグレードの準備 .....	24
計画 .....	24
アップグレードの実行 .....	25



# アップグレード管理

本書は、バージョン9以前のYellowfin インスタンスから、最新バージョンの9以降にアップグレードをする既存ユーザー様向けのドキュメントです。本書では、バージョン9で導入された変更点をまとめております。また、その変更点がどのような影響を及ぼすかご確認いただき、事前にバージョンアップの計画を立てることで、影響を最小限に抑えることができます。

本書と合わせて、すべての変更点の詳細が記載されているYellowfin wikiの[リリースノート](#)ページも参照してください。

## Yellowfin 9の主要な変更点

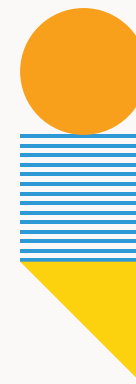
### 新しいYellowfin ダッシュボード

Yellowfin 9では、完全に再設計されたダッシュボードモジュールが導入され、ユーザーは柔軟なフリーフォームキャンバスを使用して、クリエイティブでブランドのインフォグラフィックを使用した実用的なダッシュボードを作成することができます。「コードモード」により、開発者はダッシュボードのコードを直接編集し、統合されたワークフローを作成できます。また、新しいJS API機能を使用して、自動インサイトやエクスポート、ドリルスルーを組み込むこともできます。フィルターやコードウィジェット、アクションボタンやブループリントなどの新しいコンテンツオブジェクトとともに、ダッシュボードに直接グラフを追加できるようになりました。また、PDFエクスポート、テキストやイメージツールを一新しています。

本書では、アップグレード時に注意すべき点について紹介します。

- 既存のダッシュボードは、変更されることなく維持され、ユーザーはこれを閲覧し、更新できます。また、ダッシュボードキャンバスで作成したサブタブを追加することもできます。
- ドラフト(編集)・未公開ダッシュボードは、ダッシュボードページに表示されなくなるため、閲覧ページからアクセスする必要があります。アクセス権の付与された、公開されたダッシュボードは、ダッシュボードページからの閲覧が可能です。
- ダッシュボードフィルターは、刷新されました。(より詳細な情報は、以下[フィルター](#)項目を参照ください。)
- ダッシュボード閲覧中に表示されていたダッシュボードヘルプメッセージは、廃止されました。
- レポートサマリーは廃止されました。既存のレポートサマリーは引き続き表示されますが、これを編集したり、新しく作成することはできません。  
**ヒント:** 要約したパネルを、レポート、またはダッシュボードキャンバス上に、より柔軟にカスタマイズして再作成することはできます。

- KPI ダッシュボードは、削除されました。(より詳細な情報は、以下[KPIダッシュボード](#)項目を参照してください。)
- ダッシュボードのPDFエクスポートが再実装され、単一のオブジェクトとしてではなく、ダッシュボードの完全な表示が可能になりました。キャンバスダッシュボード、および定義済みレイアウトの両方をエクスポートすることができ、コードモードを使用して追加されたJS グラフやオブジェクトを含めることもできます。PDF表示が改善され、出力オプションが追加されたことで、PDF品質が向上しました。これらの機能のコードをリファクタリングしたことで(より詳細な情報は、以下[PDFエクスポート](#)項目を参照してください。)、すべてのPDFエクスポート(ダッシュボードおよびレポート)を動作させるためにはJavaFXが必要になります。
- ストーリーのPDFエクスポートや、JavaScriptを使用した組み込み、Yellowfin ゲストユーザーとの共有が可能になりました。
- ロギングライブラリ `log4j`は、1.2.17から2.13.3にアップグレードされました。これにより、デバッグログの動作が変更されました(より詳細な詳細は、以下[ログファイルのデバッグ情報](#)を参照してください)。
- Yellowfin 9.4リリースの一環として、JavaScript グラフライブラリが、C3 (0.7.20)、charts.js(2.9.4)、D3 (6.2.0)用にアップグレードされました。
- Yellowfin 9.5では、GCMによるAES 256暗号化が実装され、内部の双方向暗号化アルゴリズムのセキュリティを向上しています(より詳細な情報は、[AES 256暗号化の更新](#)を参照してください)。



## KPI ダッシュボード

KPI レポート、およびダッシュボードは、アプリケーションから削除されました。この変更により、次の影響があります。

- 既存のKPI レポートは維持されますが、KPI サマリーは表示されません。
- 新しくKPI レポートを作成することはできません。  
**注意:** Yellowfinは、将来的にKPI レポートウィジェットを導入する予定です。
- ブロードキャストが設定されたKPIレポートは、標準レポートとして表示されます。
- KPI レポートスケジュールは、変更されることなく維持されます。

## フィルター

レポート、およびダッシュボードのフィルターは、Yellowfin 9で刷新されました。これがダッシュボード上のフィルターに与える影響は、次の通りです。

- フィルターウィジェットを使用することで、フィルターは、ダッシュボード上の任意の箇所、左側、または右側のコンテナに表示することができます。
- ダッシュボードのレフトサイドフィルターは維持されますが、ダッシュボードプロパティパネルで**左フィルター**を有効にする必要があります。

ヒント: Yellowfin ダッシュボードにおけるすべての最新情報は、[Yellowfin wiki](#) を参照してください。

## ストーリーボードを置き換えるYellowfin プレゼント

ストーリーボードモジュールは、Yellowfin 9で廃止され、Yellowfin プレゼントに置き換わりました。Yellowfin プレゼントは、データ主導コミュニケーションのためにデザインされた、完全に統合されたプレゼンテーションモジュールです。このモジュールは、新しいダッシュボードキャンバスの機能すべてを、プレゼンテーションスライドに導入することで、Yellowfinのデータストーリーテリング機能をさらに拡張します。

### 既存のストーリーボード

アプリケーション内の既存のストーリーボードは維持されますが、読み取り専用コンテンツになります。閲覧は可能ですが、これを編集したり、新規に作成することはできません。

## 高度な関数

プレゼントは、ストーリーボードよりも遥かに改善された機能を持ちます。ダッシュボードキャンバスで利用できるすべての機能が、プレゼントでも利用可能です。これには、レポート、テキスト、イメージ、図形、アイコン、フィルター、ブループリント、クイックグラフ、コードウィジェット、アクションボタン、コードモードのようなオブジェクトを含む、新しいダッシュボードキャンバスのすべての機能が含まれます。より詳細な情報は、[Yellowfin wiki](#) を参照してください。

## コンテンツフォント

Yellowfinは、コンテンツフォント機能を更新しました。ハードコードされたフォントをすべて削除し、システムフォント (Yellowfin インスタンスにインストールされているフォント) を、フォント一覧/ドロップダウンに表示する機能を追加しました。一般的なフォントの多くが、インストーラー/アップグレーダーに組み込まれます。カスタムフォントは、Yellowfin プラグイン管理から簡単に追加できます。これらの変更は、Yellowfinに同梱されていないフォントを使用する、古いバージョンのYellowfinを使用している場合に影響を及ぼす可能性があります。例: Arial、または Courier

お好みのフォントがYellowfinに同梱されておらず、またこれをアップロードしていない場合、既存のコンテンツには、Yellowfinのデフォルトフォントが表示されます。例: Libre Frankline。コンテンツ設定からデフォルト選択を変更したり、カスタムフォントを追加できます。それぞれの手順については、[Yellowfin wiki](#) を参照してください。

**注意:** リポジトリDBへの設定を通して、フォント値を追加しており、これを引き続き使用する場合は、プラグイン管理から、フォントファイルをアップロードしなくてはなりません。これを実行しない場合、対象のフォントは適切に表示されません。

リポジトリDBへの設定からフォント値を追加する方法はサポートされなくなりましたが、Javaフォントディレクトリに追加されたフォントは認識されます。

### 変更の理由

以下の理由により、今回の変更を実施しています。

- 企業のブランディングをYellowfinに直接統合するため。
- ユーザーの端末にフォントファイルを保存する手順を排除するため。
- ハードコードされた複数タイプのフォントに代わり、Yellowfinで使用されるフォントに一貫性を持たせるため。
- ユーザーが、インスタンスのカスタマイズを、より細かく制御できるようにするため。
- 異なるサーバに存在するYellowfin インスタンスで、フォントスタイルの統一を容易にするため。

## PDFエクスポートサポートの変更点

- PDFエクスポートは、優れたエクスペリエンス(ピクセルパーフェクトエクスポート、JSグラフおよびその他のJSオブジェクトなどのエクスポート)を提供するために、Yellowfin 9.3で刷新されました(その後さらに改善を追加しています)。
- これを機能させるためには、JavaFXがインストールされている必要があります。これがインストールされていない場合、既存のPDFエクスポーターが使用されるか、まったく機能しません。[こちら](#)を参照してご利用のシステムにJavaFXがインストールされているかを確認し、インストールされていない場合は、その方法を確認してください。
- Yellowfin 9.3を使用している場合は、[レポート外部アクセス時BaseURL](#)を設定してください(後続のリリースでは合理化されているため、こちらの設定は必須ではありません)。

## ログファイルのデバッグ情報

Yellowfinは、デフォルトのログファイルに追加のデバッグ情報を記録するように設定できます。ロギングライブラリであるlog4jは、1.2.17から2.13.3にアップグレードされ、サポートされるServletの最小スペックは、2.3から3.0に変更されました。これらの変更は、デバッグログの有効・無効の切り替え方法に影響を与えます。詳細な情報については、[こちら](#)の記事を参照してください。

## AES 256 暗号化の更新

高いレベルのセキュリティを維持するために、Yellowfin 9.5の内部暗号化アルゴリズムは、GCM(以前はトリプルDES)を使用したAES 256にアップグレードされました。

このアップグレードは、Java バージョン8を使用するYellowfin インスタンスに影響します。不正なキーサイズの例外が発生したり、Yellowfinのカスタムログイン画面が機能しなくなる可能性があります。Yellowfinの互換性を回復するには、Java 8のセキュリティ設定を変更する必要があります。このアップグレード以前に保存されたパスワードは、アプリケーションで編集、または再保存されるまで3DESのままです。より詳細な情報は、[こちら](#)の記事を参照してください。

標準のJava 9、およびそれ以降のJava バージョンでは、設定を変更することなく動作するはずです。

## 新しいレポートおよびグラフ書式のデフォルト設定

Yellowfin 9は、グラフおよびレポートの色、フォント、スタイル、余白、その他の視覚的書式にデフォルト設定を持ちます。これらの設定は、グラフやレポートのデフォルトの外観に影響し、さらなるカスタマイズは必要ありません。アップデートの際に、これら変更された書式設定を適用するか、以前の書式設定を維持するかを選択します。

## 新規オプションが持つ意味

新しい書式変更を適用するには、次の2つのオプションがあります。

- システム構成レベルのデフォルト設定:これらは、レポートおよびグラフの色、フォント、スタイルのデフォルト設定です。システム管理者は、管理コンソールのコンテンツ設定から、これらを手動でアップデートできます。(より詳細な情報は、[システム構成のデフォルト設定表](#)を参照してください)。
- グラフ書式のデフォルト設定:これらは、グラフビルダーで設定するグラフ書式のデフォルト設定です。これには、グラフの軸、凡例、並べかえ、余白、その他視覚的要素が含まれます。(より詳細な情報は、[グラフ書式のデフォルト設定表](#)を参照してください)。

## カスタムレポートおよびグラフスタイルに与える影響

(システム構成レベルで)レポートやグラフにカスタム設定を適用している場合、アップグレードに際して、新しいYellowfin システム構成レベルのデフォルト設定を適用したかどうかに関わらず、カスタム設定には影響を与えません。しかし、新しいデフォルト設定の適用を選択した場合、以前は定義していなかった設定に、新しいYellowfinのデフォルト設定が適用されます。



## デフォルト設定の変更点詳細

これら設定の影響については、それぞれ対応する以下の表を参照してください。

## システム構成のデフォルト設定表

アップグレードに際して適用される、システム構成レベルの新しいグラフおよびレポートのデフォルト設定は、すべて以下の表に網羅されています。「Apply new configuration defaults (新システム構成デフォルト設定を適用)」チェックボックスを選択した場合、**新しいデフォルト**カラム(列) 値が、すべての既存、および新規コンテンツに適用されます。選択しない場合は、**以前のデフォルト**値が維持されます。

システム構成設定	設定内容の詳細	旧デフォルト値	新デフォルト値
デフォルトフォント	(新システム構成設定) すべてのコンテンツに使用されるデフォルトフォントです。	Arial、Sans serifなどの組み合わせにより、数多くの異なるフォントが使用されていました。	Libre Franklin
カラーピッカーの標準色	グラフのデフォルトカラーとともに、カラーピッカーに表示するデフォルトカラーです。	#FFFFFF #CCCCCC #999999 #666666 #333333 #000000	#FFFFFF #ECEDF0 #BBC0CD #A0A5B4 #717684 #333740
グラフ設定			
アニメーショングラフローディング	ロード時にグラフをアニメーション化します。	Yes	No
アクティブ・グラフ・アウトライン	現在対象となっている領域の輪郭の色を定義します。	#FF9900	#ECEDF0
アクティブ・グラフ・フィル	現在対象となっている領域を示す色を定義します。	#FFCC00	#FFFFFF
グラフの色 - 単一	グラフのデフォルトカラーに使用する単一色を定義します。	#009EEC #7CBB00 #FFBB00 #CC0000 #8F509D #FF5716 #999999 #3FCBE9 #A8E34C #FDD806 #3C8E8F #CDA4DE #FC5F91 #666666 #FF8132 #5AC5BD	#009EEC #85016B #40C1C0 #FED109 #9C6ADE #0F3A5D #9BC530D #F67789 #FF6F00 #707685 #EE2438 #333740

## グラフ設定

システム構成設定	設定内容の詳細	旧デフォルト	新デフォルト
グラフの色 - グラデーション	グラデーションを有効にしている場合、使用する色を定義します。	#4DBBF2 #A4D04D #FFD04D #DB4D4D #B185BB #FF8A5C #B8B8B8 #79DBF0 #C2EB82 #FEE451 #77B0B1 #DCBFE8 #FD8FB2 #949494 #FFA770 #8CD7D1	#27B9FD #B74298 #73EEEC #FFE740 #CF99FF #40648A #CFF86E #FD7788 #FFC466 #A0A5B4 #FF6364 #5D616B
マップの色	マップに使用するデフォルトカラーを定義します。	#FF270F #FFFFFF #20A0FF	#EE2438 #FFFFFF #009EEC
注釈範囲デフォルト	グラフ上の注釈に使用するデフォルトカラーを定義します。	#009EEC	#ECEDF0
線の幅	グラフに使用する線のデフォルトの太さを定義します。	2	1
グラフのタイトルフォント	グラフのタイトルテキストに適用するフォントを定義します。	SansSerif	Libre Franklin
グラフのタイトルフォントのサイズ		20pt	16pt
グラフのタイトルフォントカラー		#666666	#333740
軸のタイトルフォント	グラフの軸のタイトルに適用するフォントを定義します。	SansSerif	Libre Franklin
軸のタイトルフォントのサイズ		12pt	11pt
軸のタイトルフォントカラー		#999999	#717684
軸ラベルフォント	グラフの軸ラベルに適用するフォントを定義します。	SansSerif	Libre Franklin

## グラフ設定

システム構成設定	設定内容の詳細	旧デフォルト	新デフォルト
軸ラベルのフォントカラー		#666666	#333740
凡例のフォント	グラフの凡例に適用するフォントを定義します。	SansSerif	Libre Franklin
凡例のフォントカラー		#666666	#717684
ラベルのフォント	グラフのラベルに適用するフォントを定義します。	SansSerif	Libre Franklin
ラベルのフォントカラー		#666666	#717684
シリーズ選択のフォント	シリーズ選択のテキストに適用するフォントを定義します。	SansSerif	Libre Franklin
Google GIS ラベルの境界線	GISマップのラベルの境界線に使用する色を定義します。	#000000	#333333
グリッド線の表示	デフォルトでグラフに表示するグリッド線を定義します。	X軸、およびY軸	数値軸
X、およびY軸のグリッド線の色	グリッド線に表示する色を定義します。	#E4E4E4	#DBDDE5
横軸、および縦軸の色	横軸、および縦軸に表示する色を定義します。	#999999	#DBDDE5



## レポート設定

システム構成設定	設定内容の詳細	旧デフォルト	新デフォルト
レポートのタイトルフォント	レポートのタイトルテキストに適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
レポートの説明のフォント	レポートの説明に適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
カラム(列)とロウ(行)の見出しフォント	表の見出しに適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
カラム(列)とロウ(行)の見出しフォントのサイズ		14	12
カラム(列)とロウ(行)の見出しフォントカラー		黒	#333740
カラム(列)とロウ(行)の見出しフォントの書式		なし	太字
カラム(列)とロウ(行)の背景色	表のカラム(列)とロウ(行)の見出しに適用する背景色を定義します。	#009EEC	#ECEDF0
ヘッダーの高さ	表のヘッダーの高さをピクセル単位で定義します。		22
ヘッダーの内側の余白	各ヘッダーセルのテキストと枠線の間隔をピクセル単位で定義します。	左: 6、右: 6、上: 6、下: 6	左: 10、右: 10、上: 6、下: 6
クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダーフォント	クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダーに適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダーのフォントカラー		黒	#333740
クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダーのフォント書式		なし	太字

## レポート設定

システム構成設定	設定内容の詳細	旧デフォルト	新デフォルト
クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダー背景	クロス集計表のヘッダーに適用する背景色を定義します。		#ECEDF0
クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダーの高さ	表のヘッダーの高さをピクセル単位で定義します。		22
クロス集計表のメトリック(数値)のヘッダーの内側の余白	各ヘッダーセルのテキストと枠線の間隔をピクセル単位で定義します。	左: 2、右: 2、上: 2、下: 2	左: 6、右: 6、上: 2、下: 2
クロス集計表のカラム(列)の値のフォント	クロス集計表のカラム(列)値に適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
クロス集計表のカラム(列)の値のフォントカラー		黒	#333740
クロス集計表のカラム(列)の値の書式		なし	太字
クロス集計表のカラム(列)の値のヘッダーの高さ	表のヘッダーの高さをピクセル単位で定義します。		22
クロス集計表のカラム(列)の値のヘッダーの内側の余白	各ヘッダーセルのテキストと枠線の間隔をピクセル単位で定義します。	左: 2、右: 2、上: 2、下: 2	左: 6、右: 6、上: 2、下: 2
クロス集計表のロウ(行)の値のフォント	クロス集計表のロウ(行)値に適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
クロス集計表のロウ(行)の値のフォントカラー		黒	#333740
クロス集計表のロウ(行)の値のヘッダーの高さ	表のヘッダーの高さをピクセル単位で定義します。		22
クロス集計表のロウ(行)の値のヘッダーの内側の余白	各ヘッダーセルのテキストと枠線の間隔をピクセル単位で定義します。	左: 2、右: 2、上: 2、下: 2	左: 6、右: 6、上: 2、下: 2

## レポート設定

システム構成設定	設定内容の詳細	旧デフォルト	新デフォルト
データフォント	表のセルにて適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
データのフォントカラー		黒	#333740
データセルの高さ	表のロウ(行)の高さをピクセル単位で定義します。		22
データセルの内側の余白	各セルのテキストと枠線の間隔をピクセル単位で定義します。	左: 4、右: 4、上: 5、下: 5	左: 10、右: 10、上: 5、下: 5
ロウ(行)の強調	マウスポインターをロウ(行)の上に置いたときに強調して表示する色を定義します。		#ECEDF0
セルの境界線の色	セルの境界線の色を定義します。	#DEE6ED	#ECEDF0
セクションタイトルのフォント	レポートのセクションタイトルに適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
セクションタイトルのフォントカラー		#666666	#333740
ヘッダーとフッターのフォント	レポートをエクスポートしたときに使用されるヘッダーとフッターのテキストに適用するフォントを定義します。	Arial	Libre Franklin
ヘッダーとフッターのフォントサイズ			9
ヘッダーとフッターのフォントカラー		黒	#717684

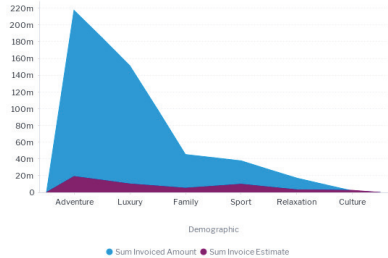
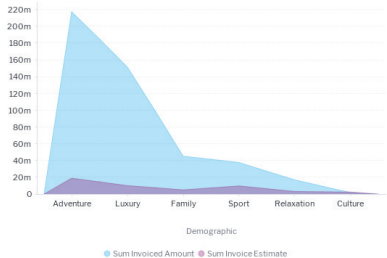
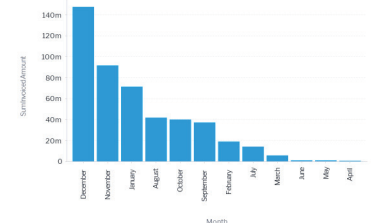
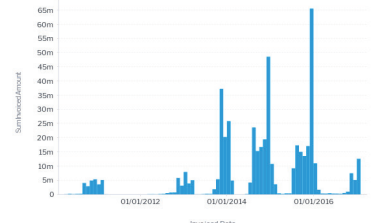
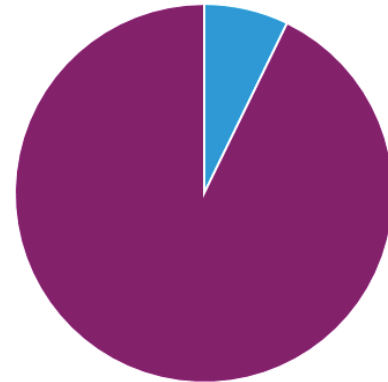
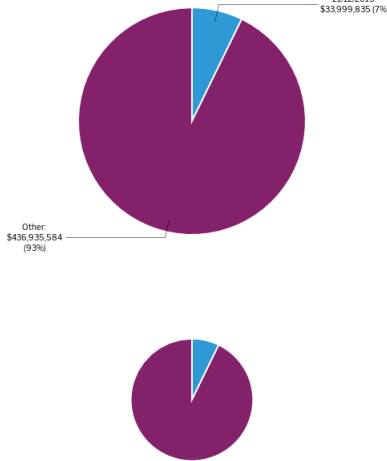
グラフ書式のデフォルト設定表

アップグレードに際して適用されるグラフ書式の新しいデフォルト設定は、すべて以下に網羅されています。「Apply new chart defaults (新グラフ書式デフォルト設定を適用)」を選択することで、新しいデフォルトカラム (列) 値が適用されます。選択をしない場合、既存のコンテンツにのみ、これまでのデフォルト値が適用されます。アップグレード時の選択に関わらず、すべての新規コンテンツには、新しいデフォルト設定が適用されます。

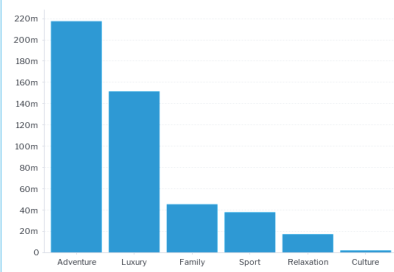
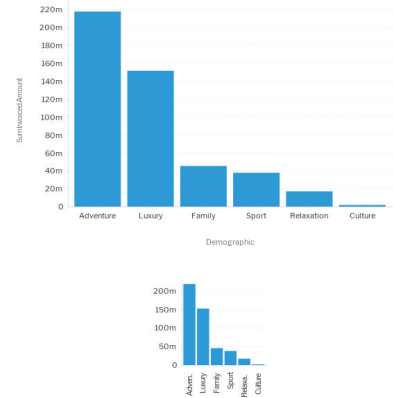
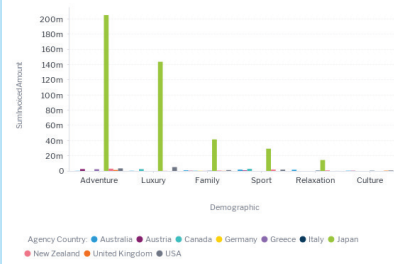
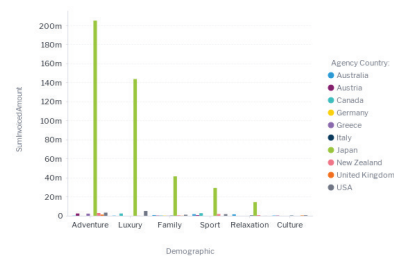
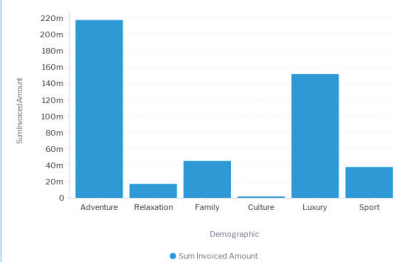
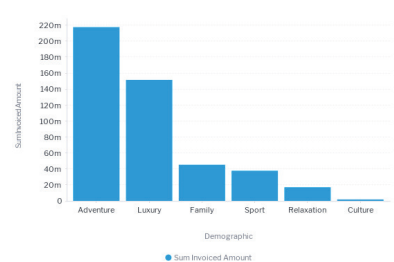


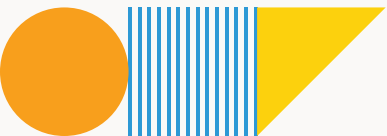
新グラフ書式設定						
グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
コンビネーションオーバーレイ	コンビネーショングラフオーバーレイ	棒グラフを重ねて表示するか、並べて表示するかを定義します。	オン - 第2軸を持つコンビネーショングラフでは、異なるシリーズの棒グラフを重ねて表示していました。		オフ - 第2軸を持つコンビネーショングラフでは、異なるシリーズの棒グラフを並べて表示します。	
タイムシリーズオーバーレイ	タイムシリーズ横棒、および縦棒グラフ	棒グラフを重ねて表示するか、並べて表示するかを定義します。	オン - タイムシリーズ横棒、または縦棒グラフでは、異なるシリーズの棒グラフを重ねて表示していました。		オフ - タイムシリーズ横棒、または縦棒グラフでは、異なるシリーズの棒グラフを並べて表示します。	
先端の丸み	メーター、およびダイヤルグラフ	メーター、およびダイヤルグラフのカラーバンドの先端を丸くします。	オフ		オン	

既存グラフ書式設定

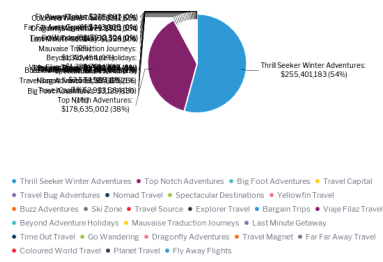
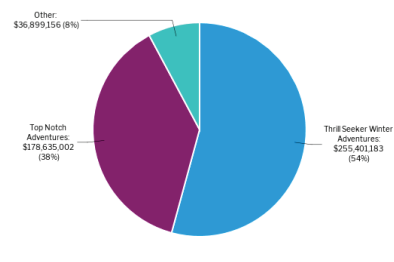
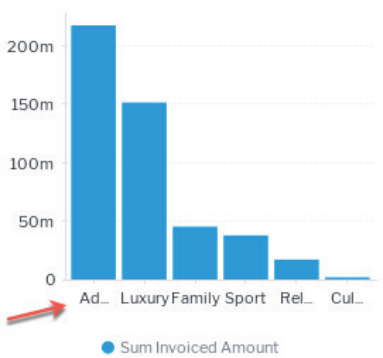
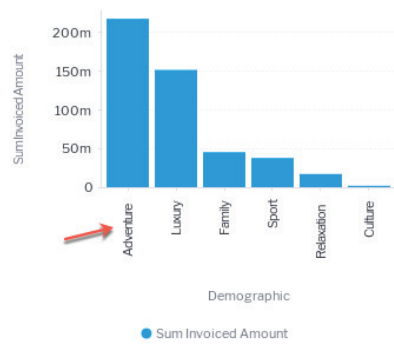


グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
不透明度	エリア、および積み上げエリアグラフ	シリーズの不透明度をパーセントで設定します。割合が低いほど、より透明になります。	100%		自動(新規オプション)-グラフタイプに応じて、最適な不透明度を決定します。	
タイムシリーズの「デフォルト」設定	横棒、縦棒、エリア、積み上げエリア、積み上げ横棒グラフ	グラフのタイムシリーズ設定をオンにします。	デフォルト-しかし、これらのグラフでタイムシリーズ設定をオフにします。		デフォルト-しかし、これらのグラフでタイムシリーズ設定をオンにします。	
ラベル表示	おまかせグラフ、散布図、円、(比例棒ではない)横棒、縦棒、線、コンビネーショングラフ	グラフにラベルを表示するかどうかを定義します。	非表示		自動(新規オプション)-表示するスペースがあり、グラフタイプに関連する場合、ラベルが表示されます。	

既存グラフ書式設定



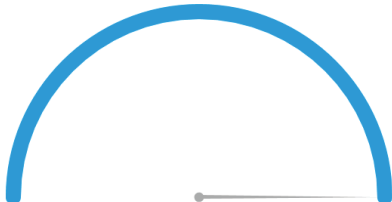

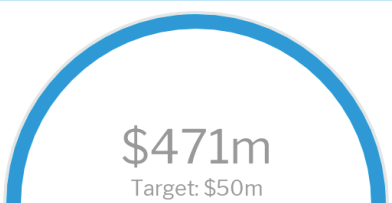
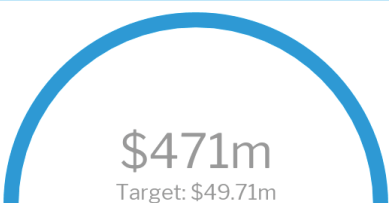
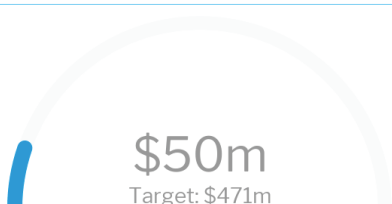
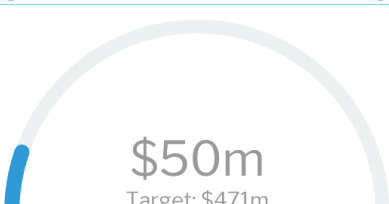
グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
軸のタイトル	軸を持つすべてのグラフ	グラフの軸にタイトルを表示するかどうかを定義します。	なし		自動(新規オプション)- 軸にタイトルを表示するかどうかを自動的に決定します。軸のタイトルは、自動的に生成されます。サイズの小さいグラフでは、軸のタイトルは非表示になり、共有軸では軸のタイトルを表示します。	
凡例の位置	凡例を持つすべてのグラフ	グラフ上の凡例の位置を定義します。	下		自動(新規オプション)- 凡例を表示するかどうかを自動的に決定します。シリーズがひとつ、またはグラフサイズが小さい場合、凡例は非表示になり、アイテム数が多い場合は右側に表示されます。	
並べかえ	並べかえをサポートするすべてのグラフ	グラフの並べかえを制御します。	データ順、および昇順		自動(新規オプション)- 並べかえには新しく「自動」オプションが追加され、グラフタイプに応じて、最適な並べかえを決定します。デフォルトでは、シリーズ順の降順ですが、離散タイムシリーズの場合は、日付の昇順になります。	





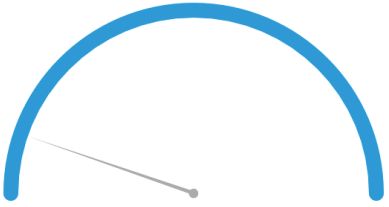

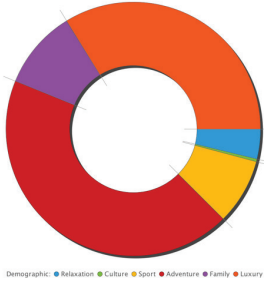
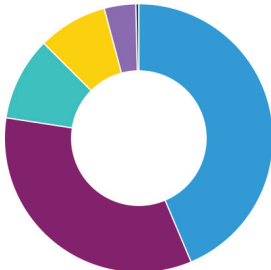
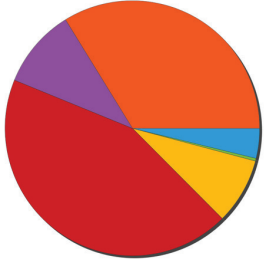
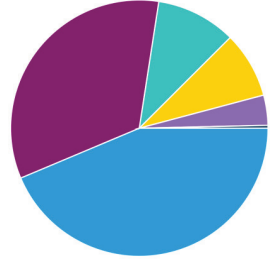
既存グラフ書式設定

グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
円グラフのその他の範囲	すべての円グラフ	合計値に対する割合が選択した%より小さいセグメントは、「その他」にグループ化されます。	0	 <p>Old pie chart with many small segments and a legend with 20 items.</p>	自動(新規オプション) - 10以上のセグメントを持つ円グラフの場合、その他の範囲は5%に設定されます。	 <p>New pie chart with 3 segments: Thrill Seeker Winter Adventures (54%), Top Notch Adventures (38%), and Other (8%).</p>
軸ラベルの向き	カテゴリーベースのおまかせ、および格子グラフ以外のグラフ	軸に表示される軸ラベルの角度を定義します。より多くのテキストを表示するために、長いラベルの向きを回転させることができます。	標準	 <p>Old bar chart with horizontal axis labels.</p>	自動(新規オプション) - グラフが非常に小さい場合、ラベルを90度上げて表示します。	 <p>New bar chart with vertical axis labels.</p>
カラーバンドの幅	メーター、およびダイヤルグラフ	メーター、およびダイヤルグラフのカラーバンドの幅を定義します。	12	 <p>Old gauge chart with a 12-degree arc.</p>	20	 <p>New gauge chart with a 20-degree arc.</p>

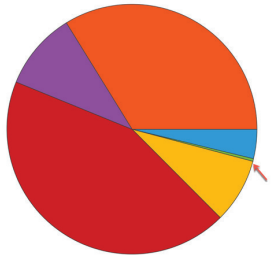
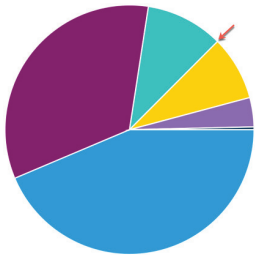
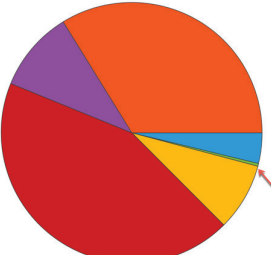
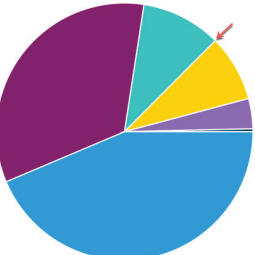
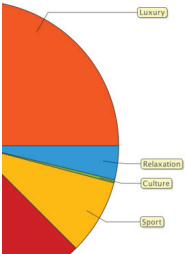
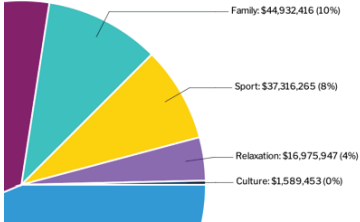
## 既存グラフ書式設定

グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
カラーバンドの背景の不透明度	メーター、およびダイヤルグラフ	カラーバンド全体の不透明度として、カラーバンドの背景の不透明度をパーセントで設定します。割合が低いほど、より透明になります。	40		100	
針の表示	メーター、およびダイヤルグラフ	メーター、およびダイヤルグラフに針を表示するかどうかを定義します。	オン		オフ	
輪郭の表示	メーター、ダイヤルグラフおよび温度計	メーターグラフの形状の周囲に輪郭を表示します。	オン		オフ	
カラーバンドの背景色	メーター、ダイヤルグラフおよび温度計	メーターグラフ上のカラーバンドの背景に表示する色を定義します。	#F9F9F9		#ECEDF0	



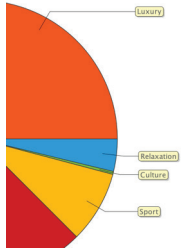
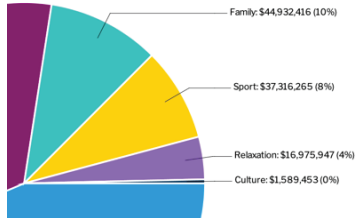
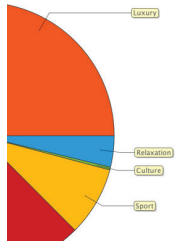
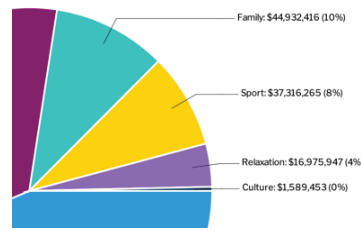
既存グラフ書式設定						
グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
値の表示	メーター、ダイヤルグラフおよび温度計	メーターグラフの現在の数値を表示します。	オフ		オン	
目標値の表示	メーター、ダイヤルグラフおよび温度計	メーターグラフに、目標値の現在の値を表示します。名前、または数値（あるいはその両方）が表示されている場合、目標値は最後に表示されます。	オフ		オン	
セグメントの輪郭の表示	リンググラフ	リンググラフの各セグメントに輪郭を表示します。	オン		オフ	
影の表示	円、3D円、およびリンググラフ	円グラフの背景に影を表示します。	オン		オフ	

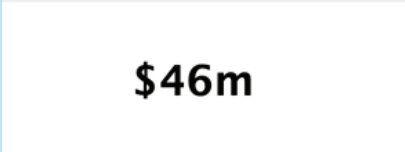
既存グラフ書式設定

グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
輪郭の色	円、3D円、およびリンググラフ	円グラフのセグメントの輪郭の色を定義します。	#444444		#FFFFFF	
輪郭の幅	円、3D円、およびリンググラフ	円グラフのセグメントの輪郭の幅を定義します。	細い		中	
ラベルの境界線	円、3D円、およびリンググラフ	円グラフのラベルの周囲に境界線を表示します。	表示		なし	



既存グラフ書式設定

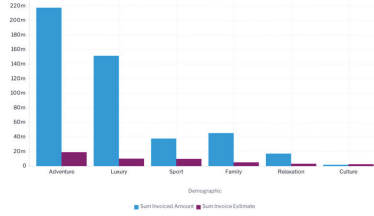
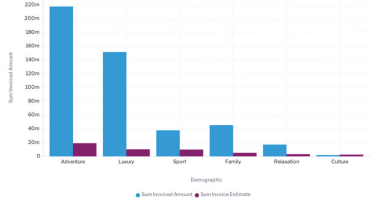
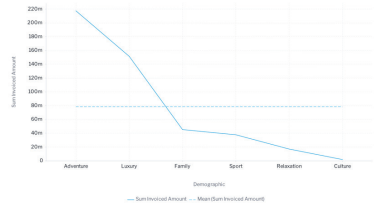
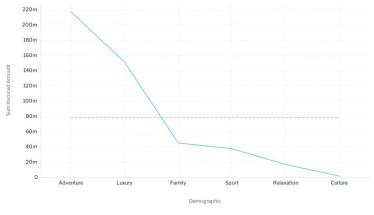
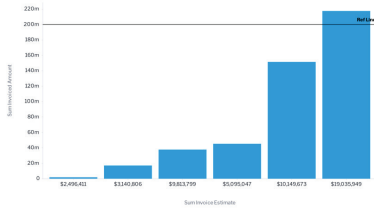
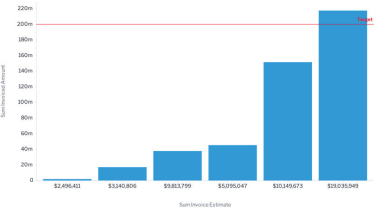
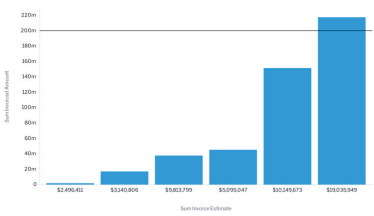
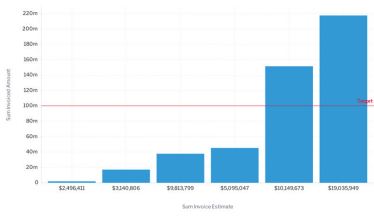
グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
ラベルコンテンツ - 値	円、3D円、およびリンググラフ	円グラフのラベルに値を表示します。	オフ		オン	
ラベルコンテンツ - 百分率 (%)	円、3D円、およびリンググラフ	円グラフのラベルに値を百分率 (%) で表示します。	オフ		オン	
太字フォント	数値グラフ	数値グラフのフォントを太字にするかどうかを定義します。	オン	<b>\$447m</b>	オフ	\$471m
フォントカラー	数値グラフ	数値グラフに表示するフォントカラーを定義します。	#000000	<b>\$46m</b>	#333740	\$46m

既存グラフ書式設定						
グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
フォントサイズ	数値グラフ	数値グラフのフォントサイズを定義します。	30		40	
バブルの不透明度	GISバブルマップ、および散布図	バブルの不透明度をパーセントで設定します。割合が低いほど、より透明になります。	30		20	
セクションの陰影	じょうごグラフ	じょうごグラフの各セクションに陰影を表示します。	オン		オフ	
影サイズ	じょうごグラフ	じょうごグラフに適用する陰影効果のサイズをピクセル単位で定義します。	4		0	

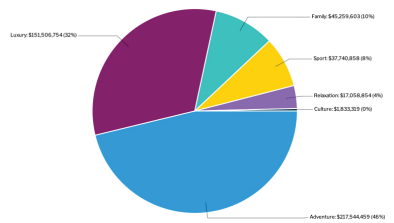
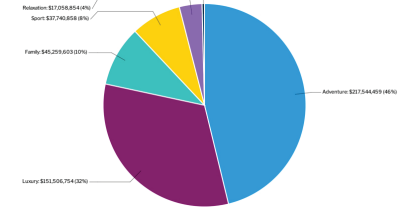
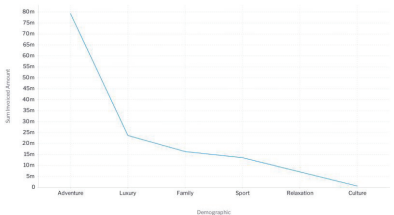
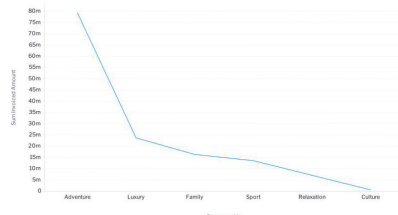
既存グラフ書式設定

グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
軸の書式	数値軸を持つすべてのグラフ	100,000,000を100mに変更するように、数値軸の値を自動的に短縮して表示します。	オフ - 接頭辞、接尾辞、小数点以下桁数を含め、数値軸の書式設定をカスタマイズできます。		オン - 数値軸の値を自動的に短縮して表示します。	
外側の余白	おまかせ、および過密度グラフ以外の軸を持つすべてのグラフ	軸の端とカテゴリの最初と最後との間の余白サイズを定義します。	1		2	
カテゴリの間隔	箱ひげ、(比例棒以外の)すべての横棒、縦棒、およびコンビネーショングラフ(ただし、複合(横)、複合(縦)グラフのみ)	軸上にある各カテゴリグループ間のスペースサイズを定義します。	3		2	
シリーズの間隔	横棒、3D横棒、横棒シリンダー、縦棒、3D縦棒、縦棒シリンダー、およびコンビネーショングラフ	軸上にあるカテゴリグループ内の各シリーズ間のスペースのサイズを定義します。	1		0	

既存グラフ書式設定

グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
凡例アイテムの形式	色範囲ではない凡例を持つすべてのグラフ	凡例内のアイテムの形式を定義します。	デフォルト設定 (はグラフのタイプに基づいていました)。縦棒グラフの場合は、四角形です。		円	
傾向を凡例に表示	傾向フィールドを持つすべてのグラフ	傾向を凡例に表示するかどうかを定義します。	オン		オフ	
基準線の色	基準線を持つすべてのグラフ	基準線の色を定義します。	黒		#EE2438	
基準線のテキスト	基準線を持つすべてのグラフ	基準線の上に表示するテキストを定義します。	なし		「目標値」と表示されます。また、「ラベルの非表示」という新しいオプションにより、基準線の上にテキストを表示させないようにすることができます。	



既存グラフ書式設定						
グラフ書式設定	影響を受けるグラフタイプ	設定内容の詳細	旧デフォルト	旧デフォルトイメージ図	新デフォルト	新デフォルトイメージ図
円グラフの開始位置	すべての円グラフ	円グラフの最初のセグメントの開始位置となるアナログ時計の文字盤の位置を定義します。	3時		12時	
グリッド線の表示	すべてのグラフ	グラフの軸にグリッド線を表示します。	すべての軸にグリッド線を表示します。		数値軸(新規オプション)-数値軸にグリッド線を表示します。または、なし-グラフに数値フィールドが含まれない場合、グリッド線を表示しません。	

## その他インストーラーでの書式設定

こちらのFAQは、標準インストーラーではなく、サイレントインストーラー、またはその他のインストーラーを使用して、上述の変更されたグラフおよびレポートの書式設定を適用する場合に参照してください。

### サイレントインストーラーで利用可能なオプション

- **migrate9Configuration** - 新しいシステム構成のデフォルト設定すべてをインスタンスに適用する場合は、こちらのオプションをTrueにします。
- **migrate9ChartDefaults** - すべてのグラフに新しいグラフ書式のデフォルト設定を適用する場合は、こちらのオプションをTrueにします。

### コマンドラインインストーラーで利用可能なオプション

各オプションに、yes/ noを定義します。以下の画面を参照してください。

```
This patch updates Yellowfin to version 9.1.

Before continuing, please:
- Shut down Yellowfin.
- Backup your Yellowfin database.

Please select the directory where Yellowfin is installed.

Enter the installation directory: ~/Builds/91

Do you want to apply the new configuration level defaults? This is permanent and cannot be undone. (Y/N)? y

Do you want to apply the new chart level defaults? This is permanent and cannot be undone. (Y/N)? y

--- Installing ---

Backing up webapp ..... [OK]
Updating libraries ..... [OK]
Extracting update ..... [OK]
Extracting update ..... [OK]
Updating Yellowfin Schema ..... [OK]
Updating reference data ..... [OK]
Updating Yellowfin Schema ..... [OK]
Converting Report Content ..... [OK]
Converting Report Content ..... [OK]
Updating styles ..... [OK]
Copying files ..... [OK]
Copying files ..... [OK]

--- Yellowfin Patch Installation Complete ---
```

## システム構成値を設定しているが、新しいデフォルト設定の一部を適用したい場合

デフォルト値から変更されたシステム構成オプションは変更されません。新しいデフォルト設定のスタイリングの一部を適用したい場合は、ビルドを新規インストールし、そのインストールからシステム構成設定を取得して、既存のインストールに適用することをお勧めします。

### ビルドを新規インストールし、既存のコンテンツをインポートした場合、どの設定が適用されるのか

ビルドを新規インストールする場合、システム構成のすべてのデフォルト設定を利用できます。これらは、必要に応じて、後ほど変更することが可能です。現状、インポートしたグラフは、新しいグラフの書式設定を継承します。

### クライアント組織への影響

新しいシステム構成設定、またはグラフ書式設定を適用する場合、これらはプライマリー組織だけでなく、すべてのクライアント組織にも適用されます。特定のクライアント組織を指定して、新しいデフォルト設定を適用する方法はありません。



## アップグレードの準備

それぞれの環境に応じて、アップグレードに必要な要件は大きく異なります。あまり計画が必要ない場合もあれば、複数の異なる関係者と調整し、複数階層のクラスタ化されたエンタープライズ環境が必要になる場合もあります。

以下のベストプラクティスを考慮しましょう。

- リリースノートを確認して、ユーザーや個々の環境への影響、達成したいアップグレードタイムラインを理解します。
- 8.0.4以前のバージョンで、カスタムログイン、またはその他のJSPページを使用している環境をアップグレードする場合は、Yellowfinのフレームワークの変更について、必ず確認してください。より詳細な情報は、[こちら](#)を参照してください。
- アップグレードの検証とリリース計画を定義します。
  - テスト環境に最新リリースをインストールします。
    - Yellowfinでは、毎回のリリース前に厳密なテストを実施していますが、アップグレード計画の一環として、ユーザー環境において、ある程度の回帰テスト実施を推奨しています。テストでは、以下の項目を確認してください。
      - コンテンツ (レポート、ダッシュボード、ビュー、ストーリー)
      - 接続
      - スケジュール、ブロードキャスト
      - セキュリティ (Active DirectoryやLDAPのような、セキュリティフレームワークのインタラクション)
      - インタラクション機能 (ドリル、フィルター、スライダー、など)
      - スタイリング
- それぞれのユーザーグループ (ビジネスユーザー、データアナリスト、システム管理者) で、リリースノート、インターフェースの変更、ビジネスワークフロー、コラボレーション、新しいグラフ設定を確認し、カスタマイズへの影響を把握してもらうことで、スムーズなアップグレードを保証します。

- ユーザーテストによるフィードバックから、一般ユーザーへのトレーニング要件を定義します。
  - すべてのユーザーが、最新のYellowfinリソースを取得できる場所を把握しているかどうか確認します。
    - 最新情報: <https://yellowfin.co.jp/campaign/yellowfin-9-whats-new>
    - リリースノート: <https://wiki.yellowfin.co.jp/pages/viewpage.action?pageId=6592312>
    - Wiki: <https://wiki.yellowfin.co.jp/display/yfcurrent>
    - Yellowfin サポートサイト: <https://support.yellowfin.co.jp>
- エンドユーザー向けに更新する必要がある独自の資料や、ユーザー向け、マーケティング向けの資料がないか確認します。
- 特定のユーザーワークフローや質問に焦点を置いた、独自のリリースウェビナー開催の必要性を検討します。

## アップグレードの実行

潜在的な環境、ユーザー、およびシステムへの影響を特定するための時間を割くなど、最新バージョンのYellowfin ソフトウェアの内部レビューと、ベータ版テストが完了したら、スムーズなアップグレードを行う準備が整います。基本的に、アップグレードには、以下4つの手順があります。

### 1. バックアップの取得

- 。現在のYellowfin リポジトリデータベースのバックアップを取得します。
- 。変更したスタイルシート、およびイメージファイルのバックアップを取得します。
- 。カスタマイズしたプログラムファイルのバックアップを取得します。
- 。アプリケーションのアップグレードを実行する前に、Yellowfinをシャットダウンします。

### 2. 最新のインストーラーの取得

- 。Yellowfin サポートチームにお問い合わせのうえ、最新のインストーラーを取得してください。

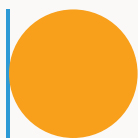
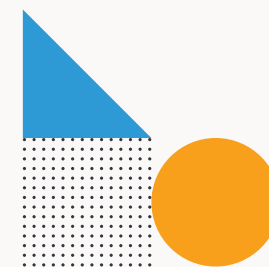
### 3. インストーラーの実行

- 。アップグレーダーを実行します。すべての手順にはガイドが表示されますが、より詳細な情報は、Yellowfin wiki [アップグレードガイド](#)を参照してください。

### 4. アップグレードしたインスタンスのテスト

- 。アップグレードした環境で、コンテンツや対話性のテストをします。Yellowfinは、毎回のリリース時に厳密なテストを実施しますが、検証プロセスの一環として、ユーザー環境において、ある程度の回帰テスト実施を推奨しています。
- 。テストでは、以下の項目を確認してください。
  - 。コンテンツ (レポート、ダッシュボード、ビュー、ストーリー、トランスフォーメーションフロー)
  - 。接続
  - 。スケジュール、ブロードキャスト
  - 。セキュリティ (Active DirectoryやLDAPのような、セキュリティフレームワークのインタラクション)
  - 。インタラクション機能 (ドリル、フィルター、スライダー、など)
  - 。スタイリング

一貫したアップグレードと、ユーザーエクスペリエンスへの影響を計画立てて確認することの利点は、様々な方法で測定できますが、最終目標としては、エンドユーザーへの影響を可能な限り抑えることです。





Things change. Know why.

Yellowfinは、自動化で強化されたワールドクラスの製品スイートを提供する、ビジネスインテリジェンスとアナリティクスのグローバルソフトウェアベンダーです。Yellowfinは、世界をリードするアナリスト企業から、イノベーターの評価を得ています。75の国々に渡り、29,000を超える組織で、300万人を超えるエンドユーザーが、日々Yellowfinを使用しています。より詳細な情報は、Yellowfinのウェブサイトをご確認ください。  
[yellowfin.co.jp](https://yellowfin.co.jp)

東京本社  
〒103-0016  
東京都中央区日本橋小網町11-8  
The ParkRex KOAMICHO Bldg 6F

Tel: 03-6667-0282

大阪オフィス  
〒530-0002  
大阪府大阪市北区曾根崎新地1-3-22  
WeWork御堂筋フロンティア

Tel: 06-7777-3855